

かすみ たつ
(在原元方)
ありわらのもとかた

作者 平安時代の歌人。在原業平の孫で、筑前守・在原棟梁の子。
大納言・藤原国経の養子。中古三十六歌仙の一人。

解説 春を詠った詩。

かすみ たつ
春の 山べは 遠けれど

語釈 ※かすみ たつ Ⅱカスミもキリも共に水蒸気の立ちこめて
いる状態を示す言葉。※春の山べ Ⅱ桜の咲いている山の意。
※花のかぞする Ⅱかは香り。花の香りがする。

吹きくる
風は 花の 香ぞする

通釈 霞のたちこめている春の山のあたりは遠いけれども、吹
いてくる風には、花の香りがする。